

青年層・中高年層にわたるひきこもり支援をめぐる

ーひきこもりの中高年齢化および最近の事件を視野に入れてー

2019 年 11 月 24 日（日） 日本福祉大学名古屋キャンパス

ひきこもり状態にある人は、従来指摘されていた青年層だけでなく中高年層に渡っていることは、ここ数年の KHJ 全国ひきこもり家族会連合会の調査や各自治体の調査でも明らかになっていました。このことは今回の内閣府の調査結果（2019 年 3 月公表）でも裏付けられました。40～64 歳の調査結果により、中高年層のひきこもる人は全国推計値で 61.3 万人に及ぶという結果です。これに内閣府の過去の 15～39 歳の調査結果を加えるとひきこもる人の全国推計値は 100 万人を超えると言われていています。この課題に対する適切な対応策の構築が望まれます。

具体的には、従来のどちらかといえば青年層中心のひきこもり支援と法制度ではなく、青年層・中高年層とその家族全てを視野に入れた支援と法制度充実が必要です。これらは当事者や支援関係者の範囲を超えた大きな社会的課題と言えるでしょう。

加えて、今年 5 月、6 月には、中高年のひきこもる人と家族が関与する大きな事件がありました。5 月の事件は、ひきこもる人（当時 51 歳）がスクールバスに乗車しようとしている小学生および保護者を襲ったものであり、加害者となった人が自死するという出来事でした。6 月の事件は、家庭内暴力のあるひきこもる人（当時 44 歳）に父親が手を下すという出来事でした。父親が元事務次官であったこと、また 5 月に起きた事件を深く懸念した上での行為であったようだという事などが報道されています。

この二つの事件とそれ以前に他の地域で起きているいわゆる 8050 問題を反映した諸事例などをも踏まえ、その背景理解を深め、不幸な事件を防止するだけでなく、ひきこもる人やその家族が将来に希望を見出すための深く・広い対応策が求められています。

そこで私たちも改めて、青年層から中高年層に渡って有益な支援・支援ネットワーク・法制度のあり方、さらには、ひきこもる人とその家族が社会の中で安心して暮らしていけるよう「共生社会」のあり方についても検討を深めたいと思います。このシンポジウムを、このような重要な課題について家族会の立場、支援者の立場、あるいは地域づくり・コミュニティソーシャルワークの立場、市民の立場などから、議論する場にしたいと思います。

各講師の発言を踏まえ、限られた時間ではありますが参加者の皆様の活発なご参加をこころより呼びかけます。

◇日 時：2019 年 11 月 24 日（日） 受付 12:30 開会 13:00 閉会 17:00

◇場 所：日本福祉大学名古屋キャンパス北館 8 階（裏面に地図）

◇定 員：100 名（当日参加可能）

◇参加費：500 円（当事者は無料、当事者家族は 1 家族 500 円）

◇お申込み：インターネット または FAX で受け付けます。**11 月 15 日（金）締切**

①インターネット（日本福祉大学心理臨床研究センター HP）の場合

<http://www.n-fukushi.ac.jp/shinri/> → QR コードをご利用ください



申込 QR コード

②FAX（日本福祉大学 心理臨床相談室）の場合

FAX 番号 052-242-3056 → 裏面をご利用ください

◇お問合せ：NPO 法人なでしこの会（フレンドシップなでしこ）

電話 052-882-1119（水・金 13:00～17:00）

メール space-friendship@chorus.ocn.ne.jp

◇プログラム

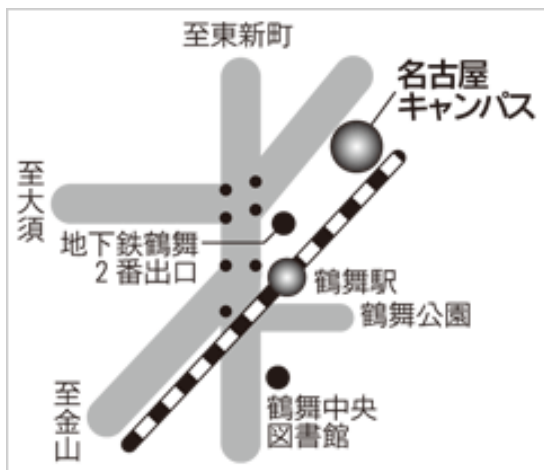
◆開会挨拶 13:00

◆ 報 告 13:10-15:35

1. 家族会の視点から内閣府「生活状況に関する調査報告書」を読む
ーKHJの一連の調査結果をも踏まえ、今後のひきこもり支援に何が必要かを考えるー
KHJ全国ひきこもり家族会連合会 本部事務局長 上田理香氏
2. 家族・社会とのコミュニケーションを閉ざしている人にどのように関わるか
ーこれまでの支援の蓄積を踏まえつつ新たな展開を模索するー
ヒューマン・スタジオ代表・相談員 丸山康彦氏
3. 中高年齢層にも届く支援の制度・仕組み・ネットワークと窓口・施設のあり方は
ー「共生社会」の視点からひきこもり・社会的孤立について社会的理解を広げるー
豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部麗子氏

◆質疑応答・討論 15:50-16:45 コーディネータ 竹中哲夫氏(日本福祉大学名誉教授・心理臨床相談室研修指導員)

◆閉会挨拶 16:50



日本福祉大学名古屋キャンパス 交通案内

JR「名古屋」駅より、「鶴舞」駅下車、徒歩2分。
地下鉄「名古屋」駅より、東山線「伏見」駅乗換
鶴舞線「鶴舞」駅下車、徒歩2分。

※車でお越しの際には、近隣の有料駐車場をご利用ください。(大学駐車場なし)

名古屋キャンパス住所
〒460-0012 名古屋市中区千代田 5-22-35

以下FAX

合同企画シンポジウム 2019 参加申込書

申込日： 月 日

日本福祉大学心理臨床相談室 行 (FAX : 052-242-3056) 締切 : 11 月 15 日 (金) 17 : 00

ご住所	〒 —		
お名前		所属先	
連絡先 (電話・E-mail アドレス等)			

※ 本申込書に記載いただいた個人情報は、合同企画の運営管理および日本福祉大学心理臨床相談室・知多市社会福祉協議会・NPO 法人なでしこの会が実施する各種講座などのご案内に利用させていただくことがあります。その他の目的には一切利用いたしません。